

2018年度江戸川ウォーク・レポート① 雨が降っても笑顔 仲間ができたBBQ



③



④



⑤



①



②

①マス・コミュニケーション学科清水ゼミ。締めは焼きおにぎりで。②同学科林ゼミ。食事を終えてお腹がいっぱいになったら、今度は賑やかに談笑。③肉から油が落ちて派手な炎が上がる。④食材をきれいに並べて焼く同学科江間ゼミ。⑤開始時には雨も小ぶりになっていた。

江戸川大学全学部全学科の新1年生の親睦を深めるために、毎年恒例の「江戸川ウォーク」が4月25日に開催された。同イベントは、江戸川沿い約6キロメートルを1時間30分ほどかけてウォーキングし、その後昼食にバーベキューを野田市の清水公園で行う予定だった。しかし今年は、前夜からの強風と雨の影響でウォーキングは中止となり、バーベキューも1時間遅れて12時からの開催となった。(撮影・取材・文：戸祭将太)

予定より遅れて始まったためお腹を空かせた学生たちは、バーベキュー場に到着するとすぐに各基礎ゼミ毎に11〜13人ずつに分かれた。配られた牛肉、豚肉、ベーコン、ソーセージなどの肉類、野菜類、おにぎりなど、食材はたっぷりある。各ゼミはそれぞれ2つずつ割り振られた炉で、火を起す準備をはじめた。自分たちで着火剤を用いて炭に火を起こして肉や野菜を焼かなければならない。だが、バーベキュー自体が初めてで、火起こしなどは見たこともない学生もいた。それでも各テーブルに置

かかれていた火の起こし方の説明書を読んだり、清水公園の職員にアドバイスをもらいながら、炉に積み重ねた炭の中の着火剤に火をつけ、うちわで扇ぎ始めた。初めの10分ほどは炉から炎と煙が立ち昇っていたが、15〜20分ほどで炭に移った火が落ち着き安定していった。

大体のゼミは学生たちが中心となってきちんと火をおこせていた。だがあるゼミは炭に移った火が弱く、肉や野菜を網に乗せたあとに火が消えてしまい、火起こしをやり直した。また、あるゼミは火が起こせたあ

とに職員からアドバイスをもらって、「もう少し早くにアドバイスを欲しかった」と言っていた。

食材を組み合わせて肉巻きおにぎりなど工夫を凝らした料理を作っているゼミもあった。

肉や野菜が焼ける音と、雨空が頭上にあるとは思えないような明るい笑顔でバーベキュー場はあふれていた。同じゼミの学生同士、ときには教員や他のゼミの学生とも、出身地や趣味など様々な会話を花を咲かせた。

ぎこちなかった会話も、バーベキューが終わるころにはお互いにファーストネームやニックネームで呼びあっていた。

食材を黒焦げにしたり、生焼けのまま食べてしまったりなど、失敗もあったが、どの学生も「美味しい」「楽しい」「達成感を感じられた」と満ちていた。

15時頃になると日が射し始めた。学生たちはテーブルをきれいに片付け、学科ごとに集合写真を撮って今年の江戸川ウォークを締めくくった。